

船橋 YMCA 通信



No. 116 2020年9月1日

編集 一般財団千葉YMCA船橋地域デポ 発行人 榎一光

〒273-0825 船橋市夏見6-6-6 日本基督教団船橋教会内

電話：(047)425-6366 FAX：(043)222-5061



障がい者理解体験教室の感想文

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため障がい者理解体験教室はまだ開かれていません。昨年、開いた体験教室の感想文を掲載します。

2019年9月24日 海神小学校

先日は、障がい者体験で、色々なことを教えてくださいありがとうございます。この障がい者体験のおかげで、私は障がいのある人のためのボランティアのような仕事をしてみたいという気持ちが、心の奥から湧き出てきました。私のもう一つの夢は看護師なので、この障がい者体験でとてもたくさん学べたと深く思いました。この体験で夢に近づけました。(4年女子)



《海神小の車いすダンスの様子です》

2019年10月15日 高根東小学校

今回は、いろんなことを教えて下さってありがとうございます。私は初めて知ったことがあります。それは、障がいのある人の気持ちです。障がいのある人は、大変な思いをしている人だったり、自由に動いてみたいと思ったりする人がいるんだと思いました。私はこれからは、目が悪い人がいて、白杖をあげていたら「何か困っていますか」と話をかけようと思いました。足が悪い人がいて、

困っているようだったら助けようと思いました。障がいのある人は、すごく大変なことが分かりました。今回は本当にありがとうございました。

(4年女子)



《高根東小の視覚障がい体験の様子です》

車いす、アイマスの体験では、私にとってアイマス体験の方が怖く、教えるのも大変でした。怖かった理由は、階段を下りる時に、どこに一段目があるのかが分からなかったからです。教えるのが大変だった理由は、何も見えない人に「あっち、こっち」じゃなく「右、左」と言わなければいけないことが分かりました。もし、目が見えない人や、車いすに乗っている人がいたら助けてあげようと思いました。(4年女子)



《高根東小の車いす体験の様子です》

2019年11月7日 葛飾小学校

車いすに乗ったのは、この体験が初めてでした。

車いすに初めて乗って車いすの操作はとても難しかったです。そんな時、介助の人が助けてくれたのでとてもほっとしました。でも介助の人がいなかったら私はどうなってるんだろうと思いました。車いす体験ができてとてもうれしかったです。

(4年女子)



《葛飾小の車いす体験の様子です》

アイマスをしたら全体が真っ暗で、闇の中にいるような感じで、目が不自由な人は、私達と違って何も見えないから、11/7に体験したら目が不自由な人の気持ちが分かりました。もし杖を持った目の不自由な人が町にいたら、私が助けようと思いました。

(4年女子)



《葛飾小の視覚障がい体験の様子です》

2019年11月19日 二和小学校

高齢者体験では、周りによくいる高齢者を見て、見ていると普通な感じなのに実際に体験すると思っていたのと違い、体は重く熱を出した時のように感じました。眼鏡は、目が悪くなった時と同じことを体験できるのをしかけて見ると霧のようにもやもやしていました。よく高齢者が体を動かすと痛いと言うけれど本当かなと思い動かすと痛くて痛いと言っていたのは、これなんだと思いました。もし障がいになったら、今日言っていたことを生活に活かしていきたいです。これからは障がい者などを見つけたら手助けしたり、声をかけた

りしたいです。

(4年男子)



《二和小の高齢者疑似体験の様子です》

今年のチャリティーラン

今年の第23回千葉YMCAインターナショナル・チャリティーランは、10月17日(土)に船橋市運動公園で行う計画でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、みんなが集まったの大会は行いません。

皆さんが自宅や職場の付近を歩くことで参加する形を模索しています。準備が遅れていて、具体的な参加方法はもうしばらくお待ちください。



《一昨年のチャリティーランの集合写真》

船橋YMCA活動記録

船橋YMCAの7月、8月の活動記録です。

- ・7月7日(火) 千葉YMCA常議員会
- ・7月22日(水) チャリティーラン実行委員会

編集後記

昨年のチャリティーランは大会当日に台風が直撃して中止になりました。今年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、障がい者理解体験教室は開催できず、チャリティーランも通常の形では開催できません。こんな時こそ障がいを持つ子どもたちを支援しましょう (楨)